

自分らしさを大切に！安心と成長を支える環境が充実

アクティオ
奥田福太郎
上席執行役員人事部長

新卒社員の職種は、営業職、技術営業職、業務職（機械整備）、一般事務職の4種類に分かれています。入社後は、クレーンやフォークリフトなど約20種類の関連資格を取得するための充実した研修を行い、資格取得や社員の成長を支援しています。

アクティオには日本全国に拠点があり、海外グループ会社も東南アジアを中心にグローバルに展開中です。社員一人一人の希望を尊重しながら、社員の個性に応じたキャリアパスを描ける体制を整えています。

若手社員が活躍できる環境づくりにも注力しており、待遇面では2023年と24年に2年連続のペースアップを行い、特に若い世代の給与を大幅に底上げしました。

完全週休2日制も実現し、年間休日123日以上に増えました。

また、25年4月から企業型確定拠出



年金（企業型DC）を導入し、長く安心して働ける環境を整備しています。

さらに、新入社員研修に加え、「入社3年目研修」という再学習の機会も提供し、キャリアの成長をサポートする仕組みも充実させています。

社風はアットホームで、社員はもちろん家族も参加できる行事が多く、毎回イベントは大盛況です。24年の夏には都内で開催された「江東花火大会」の鑑賞会に300人以上が集まり、家族と共に楽しい時間を過ごしました。また、千葉県木更津市での「ピーチクリーン活動」や、山梨県笛吹市の「アクティオの森」での植樹イベントなど、社会貢献や地域貢献につながる活動にも積極的に取り組んでいます。

そう小沼直人社長が話す通り、人手不足がますます深刻化する建設業界にとって、もはやなくてはならない存在になっている。また、SDGsという言葉が生まれるはるか以前から、循環型のビジネスを実践し、洗練させてきた先見性も注目に値する。「根底には『モノを大切にしよう』というシンプルな思いがあります。資源に乏しい日本にお

いて、今あるモノを長く使い続けるために工夫するのは当然のこと。そのための知恵や技術を磨き続け、受け継いでいくのも私たちの役割だと思っています」

現場の課題を解決する技術開発にも注力

そんなアクティオの企業姿勢を象徴するキーワードが「レンタルティンク®」だ。レンタルに



アクティオ
小沼直人代表取締役社長兼COO

「お客さまは、いつでも、どこでも、必要な機械を必要な期間だけ安価に使うことができますし、最新テクノロジーを搭載した高価な機械も1日単位で試せます。レンタルという業態があることによって、新しい技術が社会にスムーズに浸透し、業界全体の生産性や安全性を高めることにつながっているのです」

アクティオ

クレーンやバックホー、発電機や水中ポンプなど、建設現場で使われる重機や建設機械が、レンタルで賄われていることをご存じだろうか。この「建機レンタル」というビジネスモデルを50年以上も前に生み出し、まちづくりやインフラの強靱化に貢献し続けている、建機レンタル業界のリーディングカンパニーがアクティオだ。

営業所やサービス工場など、同社が有する拠点は全国に60

0カ所以上。保有するレンタル商材は建機を中心に約1万8000種、230万台にも及ぶ。このネットワーク力と商品供給力を生かし、高層ビルや工場の建設、道路やトンネルの維持・補修、迅速な復旧が求められる地震や水害の被災地に至るまで、あらゆる工事現場に必要な機械をタイムリーに届ける。さらに、使用後はしっかり整備を施し、万全のコンディションで次の現場へと送り出しているのだ。

父と息子の本音トーク

家族で働ける安心感！ アクティオの魅力とは？

アットホームな社風のアクティオには、親子で働く社員が多く在籍している。

下の写真に写るベテラン社員と新入社員も、実は親子だ。

息子の生樹さんは、「幼い頃から父と一緒に社内行事に参加していました。自然と親しみを感じ、就職先を考えたときにアクティオが浮かびました」と語る。

彼が特に魅かれたのは、さまざまな建設機械の操作や整備を学べる点、そして何より父がいるという安心感だった。

一方、息子から「採用試験を受けたい」と言われた父・孝介さんはとても驚いたそう。「息子がそんなふうに考えているとは思っていませんでした。最初は照れくささもありましたが、長年働いてみて、確かにアクティオは居心地がいい会社だと感じています。

仕事は決して楽ではありませんが、助け合いの精神が根付いており、孤立することがありません。息子には頑張れ！とエールを送りました」

新人研修を終えた生樹さんは、現在工場に配属され、業務職としてスタートを切ったばかり。

「研修では実際にクレーンやフォークリフトを操作し、資格を取得できたのがとても楽しかったです。これからは現場でさらにスキルを磨き、責任を持ってサービスを提供できるよう努力したいと思っています」と意欲を燃やす。



アクティオ
首都圏支社 埼玉支店
本田孝介 支店長

アクティオ
首都圏支社 市川工場
本田生樹氏（2024年入社）

提案力のある「建機レンタル」で 安全で魅力的な建設の未来を創る

1967年に立ち上げた水中ポンプの修理サービスを原点として、「建機レンタル」という新たなビジネスモデルを構築し、成長を続けてきたアクティオ。レンタルにコンサルティンク®を掛け合わせた「レンサルティンク®」で、業界をリードし続ける存在だ。

アクティオの強みが生かせるフィールドは無限です。柔軟な発想でレンタルティンクの可能性を広げてくれる若手の活躍に期待しています」と小沼社長は力強く語る。



キラリと光る
「ダイヤモンド企業」

株式会社アクティオ	〒103-0027 東京都中央区 日本橋3-12-2 朝日ビルディング7階
TEL	03-6854-1411
✉	jinji@aktio.co.jp
🏠	https://www.aktio.co.jp/
主な事業内容	建設機械レンタル、建設用機械器具等のレンタル・リース・販売およびこれらに付随する業務
創業/設立年	1967年1月10日
資本金	5億円
売上高	3408億5900万円（連結）※2023年12月期
従業員数	9820人（連結）※2023年12月現在
2024年度採用実績	152人（男性110人、女性42人）

※2024年11月までの情報をまとめたものです